

平成 22 年度飼料検査事業の実績

松元良祐、三谷英嗣

Result of inspection of Feeds with the Official Specification. (2010. 4–2011. 3)

Yoshihiro MATSUMOTO, Hidetugu MITANI

要 約

県内の飼料製造工場を対象に「飼料の安全性の確保及び品質の改善に関する法律」に基づく立入検査を実施し、飼料製造状況について適正であることを確認した。また、販売している飼料について、飼料を収去して成分分析を実施し、表示している成分等が適正であることを確認した。さらに、県内の牛用配合飼料製造業者を対象に立入検査を行い、飼料を収去し、動物由来たん白（肉骨粉）の混入鑑定検査を実施し、肉骨粉等の混入がないことを確認した。

緒 言

本場では、「飼料の安全性の確保及び品質の改善に関する法律」に基づく飼料工場への立入検査等により、飼料の安全性の確保及び品質の改善を図っている。そこで、立入検査に伴う飼料の確認及び指導、一般栄養成分分析、鑑定等を実施した。

材料及び方法

立入検査は、平成 22 年 7 月から 23 年 1 月にかけて配合飼料製造業者を主体に 5 カ所の工場で実施した。検査は、飼料製造状況、飼料添加物の使用状況、飼料の使用基準の遵守状況と原材料の表示の適否等の確認及び指導を実施した。また、配合飼料製造工場のうちの 1 ヶ所及び単体飼料製造工場のうちの 1 ヶ所において、それぞれ 1 件の飼料を収去した。収去飼料については化学分析により一般栄養成分分析を実施し、成分分析値が表示票に適応していることを確認した。

さらに、BSE（牛海綿状脳症）発生防止対策として、県内の牛用飼料製造業者を対象に「反すう動物用飼料への動物由来たん白質の混入防止に関するガイドライン」等に基づき立入検査を実施するとともに、最終製品を 7 検体収去し、肉骨粉混入鑑定検査を実施した。

表 1 立入検査件数

飼料安全に係る立入検査

飼料製造工場の種類	立入検査	飼料の収去
配合飼料製造工場	4 件	1 件
単体飼料製造工場	1 件	1 件

BSE 発生防止対策に係る立入検査

飼料製造工場の種類	立入検査	飼料の収去
配合飼料製造工場	2 件	4 件
単体飼料製造工場	2 件	3 件

結果

立入検査時においては、聞き取り調査及び台帳等の確認により、飼料製造状況、飼料添加物の使用状況、飼料の使用基準の遵守状況、原材料の表示の適否等について問題は認められな

平成 22 年度飼料検査事業の実績

った。また、収去した飼料 2 件については、成分分析を実施し、表示されている内容について適正であることを確認した。(表 2、表 3)。

肉骨粉混入鑑定検査については、検査した飼料 7 点全てにおいて、肉骨粉等の混入は認められなかった。対象となった飼料工場に対する立入検査では、飼料の製造管理が適正であることを確認した。

表 2 飼料検査実績

種 類	件 数	異常の有無
配合飼料	1	0
魚 粉	1	0
合 計	2	0

表 3 収去飼料の成分分析結果

飼料の種類	項目	分析値	表示値	表示値の適不適
配合飼料	粗たん白	8.10%	7.0%以上	適
	粗脂肪	3.10%	2.0%以上	適
	粗繊維	8.62%	20.0%以下	適
	粗灰分	3.25%	10.0%以下	適
	カルシウム	0.40%	0.2%以上	適
	リン	0.15%	0.1%以上	適
魚粉	粗たん白	66.9%	65.0%以上	適
	粗灰分	18.5%	20.0%以下	適
	粗脂肪	7.2%	12.0%以下	適